

第7期日野市行財政改革推進懇談会報告書の記載内容と第5次行革案の基本方針・取組み項目との整理

2016. 7.11 作成

頁	4次行革体系	記載内容要約	第5次行革案
1	はじめに	平成29年度以降も引き続き市民とともに行財政改革を推進していく必要がある。	行財政改革推進委員会及びパブリックコメント等により市民意見を反映させて5次行革大綱を策定します。
2	1. 改革により市民満足度の高いまち	本項は総花的であり、もう少し絞り込むことはできないか。	5次行革(案)全体の考え方として採用
		何をもって市民が満足するのか判断する仕組みが必要。	
		市民満足度が高い必要があるのか、納得できていればいいのではないか。	
		地域による防災の取組みはさらに発展させなければならない。	
		財源が限られた中で子育て施策と高齢者施策のバランスを取っていくことを考えなければならない。	
		子どもたちには道德教育が大切だ。	
		高齢者認知症問題を重点的に取り組んでほしい。	
		確かなセーフティネットを構築する必要がある。	
		医療費抑制のため予防施策が大切である。	
緑と水という市の財産を内外に知らせていく必要がある。			

3	2. 「公民協働」で創造する新たな公共	公民協働の意識がまだ市民に伝わっていない。意識改革が必要である。	
		公民協働でも参画と協働でも言葉はどちらでもよい。	
		自治会の役割を市民にPRするべき。自治会加入は大切なことである。そのため、地域懇談会を推進する必要がある。	
		税金を払っているのにやらされるという市民の心情に対し、市の財政状況の説明責任を図るべき。	基本方針Ⅰ (1) 財政マネジメントの強化 1. 中期財政収支計画の見直し
		市民に、行政にやってもらう意識があるのではないか。話し合いにより本当の協働が実現するのではないか。	
4	3. 市民サービス向上を目指す行政運営	提供するだけが市民サービスではなく、市民に役割を担ってもらうこともサービスである。	
		業務改善は必要で、創意工夫により効率的な体制構築を検討してもらいたい。	基本方針Ⅱ (2) 組織の生産性の向上 3. 職員提案制度による生産性の向上 4. 業務改善により生産性の向上
		電子化により、高齢者が対応できないこともある。慎重に進めてもらいたい。	基本方針Ⅱ (4) 電子自治体(ICT化)の推進
		民間活力の導入については、行政の責任で担うべきサービスがあるが、経営手法など参考にするべき。	基本方針Ⅱ (1) 官民連携の推進
		民間活力の導入はよい面が多いが、責任の所在が不明確になり、市民サービスの低下が心配である。導入の際には、目的を認識し、	基本方針Ⅱ (1) 官民連携の推進

		導入効果を検証する仕組みを作る必要がある。	1. 指定管理者制度導入施設の見直し・検証 15. PPP/PFIの導入の検討・運用指針の策定
		街路樹維持管理、公園等維持管理等、一部の業務は民間委託ではなく、自治体や市民に協力を要請する公民協働をアナウンスしてもよいのではないかと。	基本方針Ⅱ (1)官民連携の推進 10. 道路補修・側溝清掃作業業務運営のあり方 の見直し
		市職員は教養を深める、高める努力をしてほしい。	
		市民サービスには、市の枠にとらわれることなく、広域連携により近隣自治体との連携も考えるべきである。	基本方針Ⅱ (5)広域行政連携の推進 1. 各種施策における自治体間広域連携
		個人情報の管理を徹底する必要がある。	
5	4. 市立病院・外郭団体の経営健全化	市立病院は財政的理由のみで単純に存在を判断していいものかどうか考えなければいけない。一方財政運営に支障をきたしてはならない。	基本方針Ⅰ (5)市立病院の経営健全化と方向性の明確化
		広域医療体制を整えるべきである。	基本方針Ⅱ (5)広域行政連携の推進 1. 各種施策における自治体間広域連携
		開業医と市立病院の役割分担を上手く機能させる必要がある。	
		外郭団体については、何を行うために設立されたか、現在の活動、経営状態について市民に理解しにくい部分がある。人件費が占める割合も大きいので、給与等が適正なのか検討することも必要である。	基本方針Ⅰ (7)財政援助団体等への財政支援のあり方等 の見直し

		職員給与は単に下げればよいということではない。労働の対価であるので、負担に応じた報酬があれば成果が出やすいのではないか。	基本方針Ⅱ (3)人事・職員給与制度等の適正化 3. 職員給与制度等の定期的見直し
6	5. 将来を見据えた公共施設の配置と更新	公共施設の更新費用に関して具体的に市民に発信してほしい。市の財政状況が理解できていないのではないか。	基本方針Ⅲ (1)公共施設のストックマネジメント
		あれば便利だという程度のものなのか、別に無くてもいいののかの知れないという程度のものなのか検証を行うべきである。	基本方針Ⅲ (1)公共施設のストックマネジメント
		施設利用については、将来の人口構造により用途を転換させるなど、用途を限定する従来の考え方を転換させることが重要である。利用率が低いから廃止していいという単純な感覚ではなく、知恵を使う必要がある。	基本方針Ⅲ (1)公共施設のストックマネジメント
7	6. 財源確保と適切な財政運営	市税等の徴収率の目標値は100%であるべきである。	基本方針Ⅰ (2)歳入(自主財源)の確保 6, 7, 8, 9【税料徴収率】
		適正な受益者負担の考え方は、市民に周知徹底するべきである。受益者負担という言葉は一般論として理解されているので適正に求めていく方向で運用していただければ市民も納得していただけるのではないか。	基本方針Ⅰ (3)利用者負担の見直し
		負担することで大切に使用すると思うので、全ての施設は有料であることを基本に考えていただきたい。	基本方針Ⅰ (3)利用者負担の見直し
		財源確保については、創意工夫してほしい。新規にふるさと納税を確保する工夫を行ってほしい。	基本方針Ⅰ (2)歳入(自主財源)の確保

			4. ふるさと納税等寄附金の推進
		活用目的のない土地や建物は売却を考えるべき。	基本方針Ⅲ (2)不要となった施設や土地等の売却、賃貸の推進
		借金を将来に残さないため、少なくすることを考えてほしい。	基本方針Ⅰ (1)財政マネジメントの強化 2. 市債発行の見直し
7	7. 職員の育成と適正な給与水準	人材育成に関して、能力主義、成果主義の導入を図る必要がある。	
		PDCAサイクルをしっかりと回せる職員を作ることが必要だ。	基本方針Ⅱ (2)組織の生産性向上 1. 総合マネジメントシステムの構築
		職員採用制度で教養試験を廃止したことは良いことだと思うが、一定程度の教養は要求してもよい。	
		縦割り行政の弊害を解消し、組織横断的に対応することが重要	
		職員給与水準が下がってきている努力は感じるが今後も市民に納得が得られる給与水準を目指す必要がある。国や都とのバランスもさることながら、市民感覚としての納得度も必要。	基本方針Ⅱ (3)人事・職員給与制度等の適正化 3. 職員給与制度等の定期的見直し
		人事評価は正しい評価ができるように見直していかなければならないのではないか。	
		マイナンバー制度は組織や人員の見直しに絡んでくる。しっかり検討する必要がある。	基本方針Ⅱ (4)電子自治体の推進 3. マイナンバー制度を活用した施策展開

		職員が働きやすい環境の実現を求める。メンタルヘルス対策の充実や年次有給休暇の取得率向上が望まれる。平成25年度の取得率が28.15%は労務管理等からも問題である。取得により市民サービスが大きく低下したら、それは人事配分の問題である。	基本方針Ⅱ (3)人事・職員給与制度等の適正化 2. 長時間労働の是正(時間外の縮減)
		政策決定に女婿管理職が関わることは男女共同参画の視点で大切であるが、男も女も働きやすい環境が大切である。	基本方針Ⅱ (3)人事・職員給与制度等の適正化 2. 長時間労働の是正(時間外の縮減)
		中途退職した職員数とその理由を分析することも働きやすい職場の実現に必要である。	(3)人事・職員給与制度等の適正化 2. 長時間労働の是正(時間外の縮減)
9	8. その他	厳しい財政状況であるにしては、「〇〇をやっていく」との記述が多い。すべてできればいいが、難しいのであれば、全てをやらなくても良いのではないか。	基本方針Ⅰ (4)既存事業の見直し
		改革項目が470あるが、こんなに多くの行革項目がある自治体はない。進行管理の点からも5次行革大綱はもっと重点化、簡素化すべきである。	5次行革(案)全体の考え方として採用
		継続が必要な項目は5次行革でも取り組んでいくべきである。	継続すべき項目は継続する方向。
		市民ニーズやサービス満足度の把握方法が記載されていないので検討してほしい。	
		予算執行に関して、検証機関を設けてチェックする必要がある。経営感覚を持って効率的な行政運営を進める基本的な考え方に基づき、マネジメントをしっかりと行い、市民への説明責任を果たす必要がある。	基本方針Ⅱ (2)組織の生産性向上 1. 総合マネジメントシステムの構築
		報告書に記載されていない私的や意見についても、報告書の意をく	

		み取って改善に繋げていただきたい。	
10	おわりに	持続可能なまちづくりは、行政だけでないうことではなく、市民も何ができるか真剣に考え、自覚と責任をもって行動しなければならない。	
		必ずしも人の定住化、人口増を目指さなくても、人口減少に見合った中で、安心して暮らせるような充実したまちでありたい。	